(昭和三十七年寮歌

夜々に語ったる苦悩の集り散ず若人が集り散ず若人がない。 こうと きょう かとうと まょ かとうと まょ かんきん かんきょう へきかん かん いくせいそう

ああその意気は永遠に栄えん日々に語ったる歓喜の記 の記き

あ

あ Ź ō 思出い い つ かが

れ Ä

> るその純情後に偲ばん

Ш 秀三郎 |洋視| 君 君 作 作 曲 歌

助